

出版情報

書名・件名	厚生白書(平成11年版)
副書名	社会保障と国民生活
編集者・監修者	厚生省
所在地	東京都千代田区霞ヶ関1-2-2
国名	日本
郵便番号	100-0013
電話番号等	03(3503)1711
発行日	平成11年8月11日
発行日	平成11年8月11日
I S B N	4-324-05892-X C3036
価格	2381円

厚生白書の刊行に当たって

厚生大臣 宮下 創平

平成10年版厚生白書をここに公表します。

我が国の社会保障は、第2次世界大戦後、社会保障の基本的理念を明記した憲法の下に制度化が進められ、経済成長とあいまって、その規模や適用される範囲が拡大してきました。戦後の半世紀の間に、多くの人々の努力と理解と協力により、昭和30年代に確立した国民皆保険・皆年金を基本として、社会保障に関する種々の制度の創設・拡充や給付の改善が図られてきました。

今日では、社会保障制度は、私達の生活に深く組み込まれ、日常生活を送る上で不可欠なものとなっています。医療保険や年金、保育、障害者福祉や高齢者の介護など、社会保障制度のない暮らしは考えられなくなっています。病気や要介護状態になったとき、あるいは老後の生活など、人生における不安要因が生じたときに、これらの社会保障制度によって、安定した生活を送ることができるよう支えられています。

一方で、近年、少子高齢化の進展や経済基調の変化等を反映して、社会保障の将来に対する不安感が大きくなっている状況が見受けられますが、社会保障の重要性を考えますと、21世紀を目前に控えた現時点において、国民生活における社会保障の意義と役割を再確認して、社会保障の今後のあり方を考えるべき時期に至っているとともいえるでしょう。

そこで、今年の白書では、「社会保障と国民生活」と題して、戦後の50年間に我が国の社会保障がどのように発展し、現在どのような水準に到達しているのかについて簡潔に説明するとともに、社会保障の目的と機能を明確にし、実際の国民生活や国民経済において社会保障がどのような効果をもたらしているのかについて分析しています。そして、今後の社会保障のあり方や少子高齢社会の姿などについて展望してみました。

また、白書では、介護保険制度の円滑な施行に向けての準備、年金制度改正に向けての取組み、医療制度改革や社会福祉基礎構造改革の動向、少子化への対応、中央省庁再編を始めとする行政改革への対応など、厚生行政の各分野における主な動きと今後の改正の方向について紹介しています。

社会保障は、社会を構成する一人一人のお互いの助け合いと連帯の精神によって支えられているものです。この白書が、社会保障の重要性や役割、仕組みなどの理解に役立つとともに、21世紀の日本社会にふさわしい社会保障制度の構築に向けて、ともに考えていく素材として、国民の皆様に広く活用されることを願っています。

平成11年6月